

2024年6月4日

クライメート・トランジション利付国債への投資について

レーク伊吹農業協同組合(代表理事 谷口 由行、以下「当組合」という)は、このたび、日本国が発行する「クライメート・トランジション利付国債(※1)」(以下、本債券)へ投資しましたので、お知らせいたします。

(※1) <https://www.mof.go.jp/jgbs/topics/JapanClimateTransitionBonds/index.html>

本債券は、これまでの国債(建設国債、特例国債、復興債等)と同様に、同一の金融商品として統合発行することに限らず、調達する資金の用途やレポーティング方法等を示したフレームワークを策定したうえで、国際標準への準拠について評価機関からの認証(セカンド・パーティ・オピニオン)を取得した、個別銘柄「クライメート・トランジション利付国債」として発行されます。

日本政府のトランジション戦略は、2050年カーボンニュートラルの実現および中間マイルストーンである2030年度の目標(2013年比46%の削減)達成のため、今後10年間で官民合わせて150兆円の投資を呼び込む計画であること、政府がこれに先んじてクライメート・トランジション・ボンド・フレームワークに定めた投資を実行することで、GX投資を喚起することとされています。2023年11月に、GX推進戦略で策定した目標および方針に沿って、クライメート・トランジション・ボンド・フレームワークの適格クライテリアを設定されました。

本債券で資金用途とするプロジェクトは、当該フレームワークを満たすものとして、日本政府が選定した研究開発資金および補助金プログラム等であります。本債券の資金用途について、日本全体のGXの取り組みを推進し、2050年カーボンニュートラルおよびマイルストーンとなる2030年度目標達成に資することが期待されております。

<本債券の概要>

名 称	クライメート・トランジション利付国庫債券(10年)(第2回)
発 行 日	2024年5月29日(水)
発 行 体	日本国
発行総額	3,496億円
償還期間	10年

当組合は、農業を中心とした幅広い事業分野において環境に配慮した取り組みを実践しており、地域社会と共に歩みながら、持続可能な農業の実現に向けて努力を続けております。気候変動への対応は、私たちの農業活動にも大きな影響を与えるため、脱炭素社会の推進に資することが重要であると判断し、本債券の投資を決定しました。今後も環境分野等への取り組みを通じ、持続可能な社会の実現に向けて、地域と共に社会的役割を果たしてまいります。

以 上